

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年12月5日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	11月の価格動向					生育及び価格の12月の見通し		
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額						
		上旬	中旬	下旬				
葉 茎 菜	キャベツ	66.3	68	54	53	・入荷見込量:13,312t(102) ・主産地:愛知(51)、千葉(30)、神奈川(9)、茨城(7)	・愛知産、千葉産ともに、好天の影響で生育が進み順調な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年をやや下回って推移する見込み。	
		69.92	71	57	59	・入荷見込量:3,700t(105) ・主産地:愛知(50)、兵庫(9)、大阪(8)		
	ねぎ (関東:白ねぎ 関西:青ねぎ)	218.22	166	161	189	・入荷見込数量:5,977t(102) ・主産地:千葉(25)、埼玉(19)、茨城(14)、群馬(10)、栃木(7)、輸入(3)	・千葉産は、品質良好で順調な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。 埼玉産は、9月の台風で被害を受けた影響を引きずり、平年より少なめの出荷の見込み。 ・埼玉産の少なめの出荷が見込まれる中で、今後は鍋需要も高まってくると思われることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づき見込み。	
		444.77	246	244	293	・入荷見込数量:240t(96) ・主産地:徳島(27)、大阪(16)、高知(15)、奈良(13)、香川(8)、三重(6)		
	はくさい	36.65	43	32	29	・入荷見込量:14,599t(105) ・主産地:茨城(97)	・茨城産は、好天の影響で生育もよく、11月下旬から12月上旬はピークとなり、平年より多めの出荷量となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。	
		53.29	51	47	52	・入荷見込量:5,600t(106) ・主産地:愛知(21)、茨城(19)、熊本(17)、和歌山(13)、福岡(10)、岡山(8)、大分(6)		
	ほうれんそう	350.1	338	233	269	・入荷見込量:1,961t(98) ・主産地:群馬(39)、千葉(20)、埼玉(18)、茨城(14)	・群馬産は、生育の前進化により多めの出荷となっていたが、今後は出荷の谷間になることに加え、寒さの影響で生育が遅れることが予想されることから、少なめの出荷となる見込み。千葉産も、前進化の影響で多めの出荷となっている。 ・出荷量の減少が見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づき見込み。	
		419.76	399	285	334	・入荷見込量:570t(90) ・主産地:徳島(48)、福岡(24)、岐阜(9)、群馬(7)		
	レタス	136.79	124	90	139	・入荷見込量:8,221t(99) ・主産地:静岡(30)、茨城(22)、兵庫(14)、香川(9)、千葉(5)、福岡(3)	・静岡産は、好天により生育が進み、本格的な出荷になっている。今後は降雨による秀品率の低下が懸念される。茨城産は、好天の影響で生育がやや前進化した影響で、平年より早めに上旬には切り上がる見込み。兵庫産は、11月の前進化等の影響で少なめの出荷となっているが、下旬には増加する見込み。 ・静岡産の出荷に懸念はあるものの需要も減少する時期であることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		147.25	148	114	149	・入荷見込量:1,450t(92) ・主産地:兵庫(55)、徳島(22)、香川(7)		
	たまねぎ	76.15	90	88	86	・入荷見込量:9,063t(104) ・主産地:北海道(78)、輸入(6)	・北海道産は、収穫作業が終了。全体の出荷量は前年よりは多いが、平年には届かない見込み。 ・平年より少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年より高めに推移する見込み。	
		76.15	88	91	87	・入荷見込量:3,400t(105) ・主産地:北海道(52)、兵庫(38)		
果 菜	きゅうり	262.75	327	313	375	・入荷見込量:4,810t(100) ・主産地:宮崎(33)、千葉(21)、高知(18)、埼玉(16)	・宮崎産は、11月の曇天の影響でやや少なめの出荷となっているが、今後は好天により生育が回復し、中旬からは出荷量が増加する見込み。千葉産は、順調で平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに近づき見込み。 (※トピック欄参照)	
		284.72	323	345	361	・入荷見込量:1,000t(95) ・主産地:宮崎(54)、高知(20)、徳島(14)		
	トマト	315.83	457	398	448	・入荷見込量:4,810t(100) ・主産地:熊本(44)、愛知(19)、千葉(10)、静岡(6)	・熊本産は、11月の曇天の影響でやや少なめの出荷量となっているが、今後は生育が回復し、12月後半から出荷量が増加する見込み。愛知産は、順調で平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに近づき見込み。 (※トピック欄参照)	
		337.88	460	390	438	・入荷見込量:840t(101) ・主産地:熊本(40)、愛知(15)、佐賀(15)、徳島(10)		
	なす	316.84	273	294	360	・入荷見込量:1,711t(99) ・主産地:高知(61)、福岡(19)、佐賀(7)	・高知産は、冷え込み等の影響で少なめの出荷量となっているが、今後は生育が回復し、中旬からは増加する見込み。福岡産も、少なめの出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格はやや高めに推移する見込み。	
		277.06	224	278	358	・入荷見込量:280t(99) ・主産地:高知(34)、熊本(22)、福岡(21)、岡山(13)		
	ピーマン	344.39	236	263	340	・入荷見込量:1,440t(98) ・主産地:茨城(48)、宮崎(24)、高知(14)、鹿児島(14)	・茨城産は、平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、曇雨天の影響で着果が悪く、平年を下回る出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		353.61	263	278	323	・入荷見込量:290t(107) ・主産地:宮崎(60)、高知(25)、鹿児島(10)		
	根 菜	だいこん	64.33	67	55	45	・入荷見込量:13,816t(102) ・主産地:千葉(47)、神奈川(43)	・千葉産、神奈川産ともに、順調な生育で肥大が進み、潤沢な出荷となっている。年内は潤沢な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
			76.48	88	69	65	・入荷見込量:3,800t(101) ・主産地:長崎(30)、徳島(25)、和歌山(22)、鹿児島(12)	
		にんじん	100.82	102	95	82	・入荷見込量:9,742t(116) ・主産地:千葉(76)、埼玉(8)、茨城(6)	・千葉産、埼玉産ともに、順調な生育で肥大が進み、潤沢な出荷となっている。年内は潤沢な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
			104.49	106	109	107	・入荷見込量:2,400t(106) ・主産地:長崎(59)、鳥取(13)、愛知(9)、鹿児島(9)、宮崎(7)	

種類	11月の価格動向				生育及び価格の12月の見通し
	(参考) 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	中旬	下旬	下旬	
い	200.88	195	190	187	・入荷見込量：1,914t (108) ・主産地：埼玉(51)、千葉(20)、輸入(4)、栃木(4) ・埼玉産、千葉産ともに作柄もよく、順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
	207.2	258	273	273	
も	88.17	113	108	104	・北海道産は、収穫作業が終了。少なかつた前年よりは多いが、平年には届かない見込み。今後は、貯蔵腐敗が懸念される。 ・平年より少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	88.17	101	99	98	

1) 平均価格は、過去9年間又は6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2) 旬別平均販売価格の背景なしは、保証基準額を上回るもの。背景ありは、下回るもの(消費税は除く。)
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもの近畿は前年実績。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

年	過去5か年平均		平成22年		平成23年		前年比	前年比
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)		
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	1,573	102	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	1,629	96	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	1,788	98	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	1,789	106	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	1,820	105	93
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	1,857	98	97
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	1,759	102	104
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	4,392	1,717	104	99
9月	4,868	1,806	4,606	1,818	4,598	1,803	100	99
10月	5,314	1,849	4,994	1,959	5,037	1,884	101	96
11月	4,997	1,614	4,678	1,774			0	0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887			0	0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

月	キャベツ		レタス		5か年比(%)
	過去5か年平均	平成23年	過去5か年平均	平成23年	
1月	189	186	98	618	81
2月	173	228	132	496	128
3月	181	206	114	455	96
4月	250	195	78	464	75
5月	185	127	69	399	69
6月	159	106	67	360	85
7月	154	174	113	320	96
8月	170	123	72	493	71
9月	159	148	93	483	165
10月	158	187	118	474	114
11月	155	147	95	359	95
12月	146		0	442	0

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

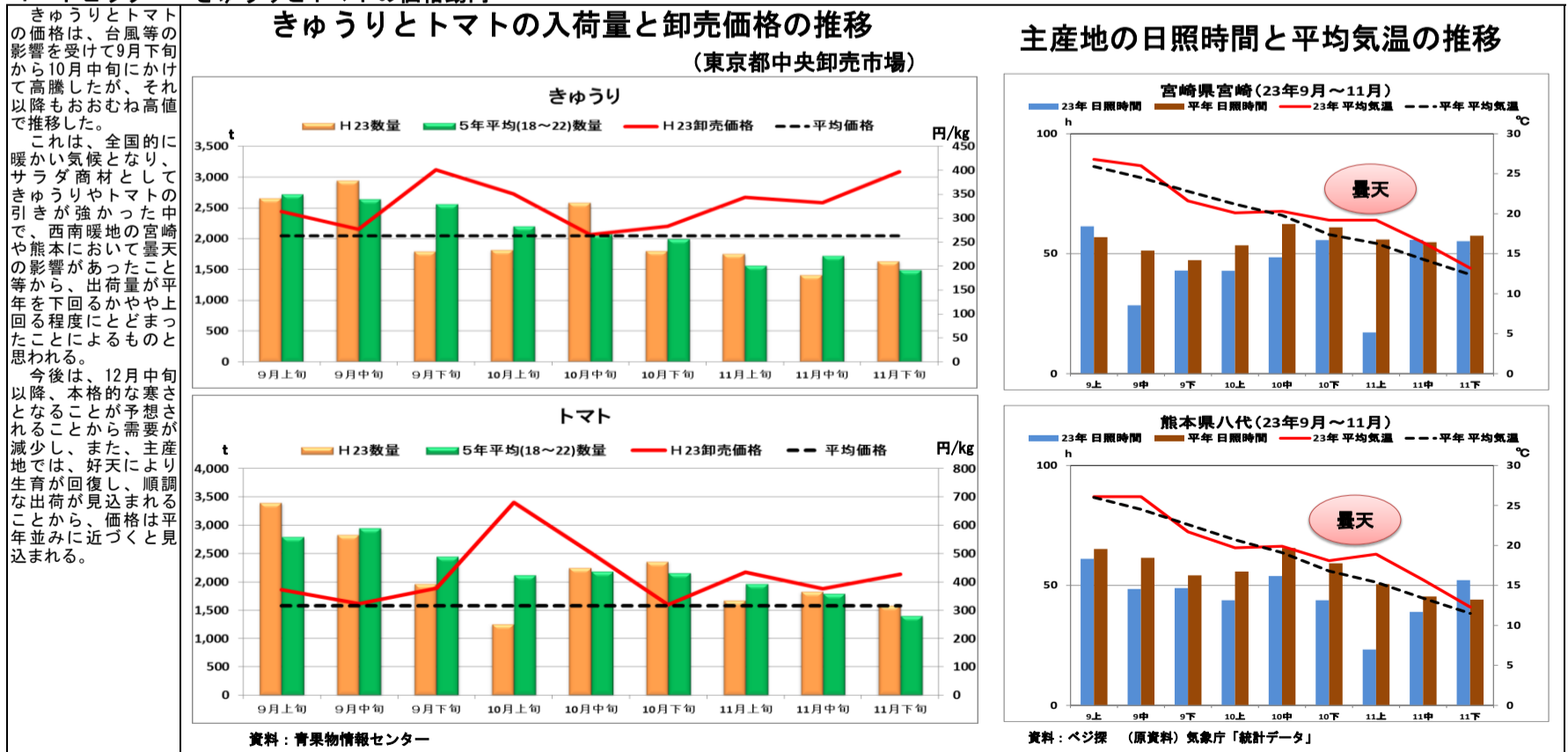
区分	平成21年		平成22年		平成23年10月		
	前年比	前年比	前年比	前年比			
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	765,960	119	114
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	1,478,203	107	115
野菜合計	2,184,898	97	2,498,527	114	2,244,163	111	115
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	1,153,723	113	117
中国産シェア	50		51		51		

資料：ペジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

品目	輸入先	(A)2010.10	(B)2011.10	(B)/(A)
		32,423	43,059	133
たまねぎ	合計	32,423	43,059	133
	中国	23,934	27,886	117
	米国	8,488	15,150	178
にんじん	合計	7,234	7,760	107
	中国	6,588	7,669	116
	オーストラリア	612	57	9
ねぎ	合計	5,027	5,071	101
	中国	5,016	5,068	101

資料：農林水産省「植物防疫統計」。(2011.10)は、速報値である。

4 トピック 一きゅうりとトマトの価格動向



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01_000076.html